

創刊号

ほっとプレス

Hot Breath



医療法人社団
憲仁会

牧田病院 広報誌

ネーミング由来！！

ほっと

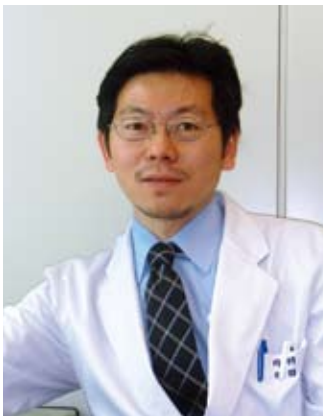
は「ほっとする」「温かな(HOT)」「安心」などの意味を込め…

プレス

は「息」「呼吸(呼吸器専門病院)」の意味
また「生命」「息吹」などの意味があり
「あたたかな生命」を私たち牧田病院
で護りたいという願いを込めています。



創刊にあたってご挨拶



医療法人社団憲仁会 牧田病院
理事長・院長 牧田 比呂仁

医療法人社団憲仁会 牧田病院は、昭和54年に開院し、長年にわたり地域の皆様方に支えられながら患者さまを中心とした良質な医療を提供できるよう努力して参りました。かねてから地域の皆様・各関係機関の皆様への感謝と私たち職員の取り組みをもっと多くの皆様へ伝えたいという想いをかたちにする機会を考えており、やっと念願の広報誌の発行へこぎつけることができました。

『個人個人にあわせたからだ全体を診る医療』の理念を念頭に、さらに呼吸器疾患を中心として消化器疾患・アレルギー疾患・糖尿病・高血圧・肝臓病など内科疾患全般の良質な医療を皆様にお届けできるものと考えております。

2006年より当院では、スパイロメトリー（努力呼気の測定）のほか、肺気量分画、肺拡散能力の測定など肺機能精密検査を行なっております。循環器の病院外来で循環動態の指標として血圧を測るように、肺の機能の指標であるスパイロメトリーを測定により“いわゆるたばこ肺”である慢性閉塞性肺疾患（COPD）の正確なデータ解釈、診断に利用されており、高い評価を得ております。また、呼吸器疾患では急性期治療後、長期にわたる呼吸・全身管理が必要となります。しかし、大学病院など初期治療を受けた病院から在宅に戻るまでの「中間」となる施設は少なく、当院ではそうした患者さまのフォローアップに力を入れております。

2007年4月より、従来の2倍のスペースが確保された呼吸器リハビリセンターを稼働し理学療法士を常勤で2名配置し、入院・外来患者さまに対して、医師や看護師のみならず、理学療法士・薬剤師・栄養士・検査技師・MSW、などによる2週間～6週間の包括呼吸リハビリテーションプログラムを作成しております。本プログラムを通して、患者さんが肺の病気を理解し、退院後も習得した肺の知識や、呼吸運動療法を継続し質の高い日常生活を営むことができるようになることが我々の願いです。微力ながら、呼吸器の専門病院として質の高い良い医療を提供できるよう、これからも職員一丸となって努力してまいります。

今回の「ほっとプレス」創刊により、私たち病院全体の取り組み・様々な病気・介護の情報などについても発信していければと考えております。今後は皆様のご意見・ご要望も取り入れながら当院・「ほっとプレス」ともども成長していけるよう皆様のご指導をお願いいたします。

新規OPEN 「リハビリ」中心の新しいデイサービスです



デイサービス



- だ** ンカ一的にプログラムした
リハビリの提供
- い** 学的な側面からの
リハビリの提供
- ち** からを合わせて介護予防



2007年10月に北区屯田に『牧田病院デイサービスだいち』を開設いたしました。

同時に隣接している『デイサービスたいよう』『居宅介護支援事業所たいよう』も10月1日より医療法人憲仁会牧田病院にて運営をすることとなりました。名称は『牧田病院デイサービスたいよう』『居宅介護支援事業所まきた』となり新規開設の『だいち』を加え、地域に密着した質の高いリハビリ・介護ケアを提供していきたいと考えております。



2つのコースから 選べます

午前コース

9:00~12:00

午後コース

13:00~16:00

※入浴・昼食については、
御相談ください。



送迎いたします!



デイサービスだいちスタッフ

M 牧田病院デイサービス だいち

札幌市北区屯田5条7丁目1番71号
TEL 775-3446

お問い合わせは…
居宅介護支援事業所まきた
TEL 775-3418
牧田病院居宅介護支援事業所
TEL 761-8360

呼吸器 リハビリ

呼吸器科専門病院として積極的にリハビリに取り組みます

呼吸リハビリテーションとは？

呼吸リハビリテーション（以下、呼吸リハビリ）は呼吸機能が低下して日常生活で何らかの支障をきたすようになった方の、呼吸困難の軽減を図り、少しでも楽に在宅生活を継続できるようにすることを目的とした治療法です。呼吸リハビリによって呼吸が楽になり運動耐容能の改善、ADL（日常生活活動）の改善、日常生活の質（クオリティー・オブ・ライフ：QOL）の向上につながります。また薬物療法によりすでに症状が軽減している患者さまにおいても、効果があります。



慢性の呼吸器の病気は、単に肺だけの問題ではなく全身に影響を及ぼしていきます。肺に対する治療だけではなく“包括的な”治療が有効といわれています。

当院では呼吸器科専門病院として包括的呼吸リハビリテーションプログラム（入院）・呼吸リハビリ教室（外来）の2つのプログラムを設け、積極的に維持・回復・予防的リハビリに取り組んでいきます。

○包括的呼吸リハビリテーションプログラム（入院プログラム）

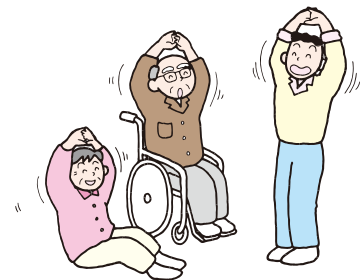
COPD、気管支喘息、肺結核後遺症、気管支拡張症、間質性肺炎などの呼吸器疾患を持つ患者さんに対して、2週間と6週間の包括的なリハビリ入院プログラムを実施しております。



具体的な内容としては、酸素療法、呼吸法、排痰法、個別の栄養指導と薬物指導、運動療法、ADL指導、ビデオ学習による正しい知識の習得などです。医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、MSW、などがそれぞれの専門性を生かし、チームを組んで展開しております。

○外来呼吸リハビリ教室

慢性呼吸器の病気では、正しい知識を身につけ、自己管理能力を向上させることが病気の進行を遅らせるには非常に重要な位置を占めるといえます。外来呼吸リハビリ教室は、多職種が関わるプログラムで、学習効果と共に、日頃の悩みの相談・共有の場、ストレス発散の場など多種多様なプログラム構成となっております。



内 容：医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士などが交代で呼吸リハビリまたはストレスコントロールのための体操・運動や講話、音楽療法を予定しています。

対 象 者：呼吸器に障害のある方及びその家族、興味をお持ちの方。

場 所：2階リハビリテーションセンター

開 催 日：毎週金曜日、午前9～10時 約60分。

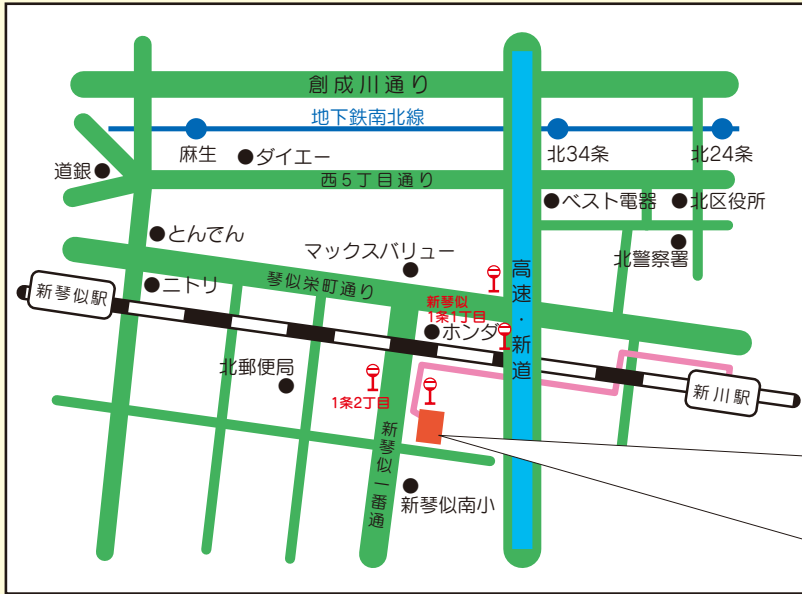
参加方法：当院1階受付にて申し込みが出来ますので、お気軽にどうぞ。



包括的呼吸リハビリスタッフ

前例左から
山口竜矢(作業療法士)・大井京子(管理栄養士)・新田克明(臨床検査技師)
牧田比呂仁(理事長・院長)・西村良子(看護師)
後列左から
後藤伸佳(薬剤師)・谷秀彰(薬剤師)・船登慶吾(理学療法士)
中村沙織(理学療法士)・長崎亮一(介護支援専門員)





☑バスをご利用の場合

- ◇中央バス（北73）新琴似2条線
地下鉄北24条駅発⇒新川営業所または手稲高校行き
新琴似1条2丁目下車 徒歩1分
- ◇JR北海道バス（琴46）新琴似線
麻生駅発⇒地下鉄琴似駅前または琴似営業所行き
新琴似1条1丁目下車 徒歩5分

☑JRをご利用の場合

- 学園都市線 新川駅より 徒歩7分



【外来診療担当医師(H19.10.1～)】

	月	火	水	木	金	土
午前	牧田	牧田 宮坂	水谷	今井	今井	牧田
	水谷	福井	長谷川	福井	長谷川	今井
午後	水谷	福井 宮坂	今井	牧田 今井	今井	
	宮坂	長井	水谷	大泉	福井	

■は予約外来です

【外来担当医師名】

- 理事長・院長 牧田比呂仁（呼吸器科・内科）
- 医師 今井 純生（アレルギー科・内科）
- 医師 宮坂 史路（内科）
- 医師 水谷 邦一（小児科・アレルギー科）
- 医師 長井 桂（呼吸器科：北大一内）
- 医師 大泉 聡史（呼吸器腫瘍科：北大一内）
- 医師 長谷川 大（呼吸器科：北大一内）
- 名誉院長 福井 澄男（内科）



医療法人社団
憲仁会

牧田病院

東洋医学研究所 / 呼吸リハビリテーションセンター
<http://www.makita-hp.com/>

診療科目：呼吸器科・内科・アレルギー科
 診療時間：午前 9：00～12：00 午後 13：30～17：00
 （土曜午後、日曜・祝日休診）
 TEL(011)761-4835 FAX(011)761-0229
 〒001-0901 札幌市北区新琴似1条2丁目6-25

- 牧田病院 指定居宅介護支援事業所
TEL(011)761-8360 FAX(011)761-0917
- 牧田病院デイケアセンター
TEL(011)761-8366 FAX(011)761-0926
- 牧田病院ヘルパーステーション
TEL(011)761-4845 FAX(011)761-0917
〒001-0901 札幌市北区新琴似1条2丁目6番25号

- 居宅介護支援事業所 まきた
TEL(011)775-3418 FAX(011)775-3428
- デイサービス たいよう
TEL(011)775-3343 FAX(011)775-3372
- デイサービス だいち
TEL(011)775-3446 FAX(011)775-3448
〒002-0855 札幌市北区屯田5条7丁目1番71号

編集後記

冬の足音が聞こえ始め、急に肌寒くなりました。風邪がはやり始めるこの季節、体調を崩されている方はいませんか。

先日、父と母が60歳の還暦を迎えました。団塊の世代が定年をむかえ、益々高齢化の波が今後押し寄せてくるんだなあ～と実感をし、徐々に父とお酒を飲みました。社会では『年金問題』『老老介護』『生活保護受給問題』など様々な老後に関する不安なニュースが飛び交う中、私たち若い世代がもっともっとしっかりせねば・・・と思う今日この頃でした。(N.R)

医療法人社団憲仁会 牧田病院

〒001-0901 札幌市北区新琴似1条2丁目6-25
 TEL(011)761-4835 FAX(011)761-0229
 URL <http://www.makita-hp.com/>

発行：医療法人社団 憲仁会 牧田病院
 発行日：平成19年10月20日
 編集：広報誌編集局
 発行責任者：牧田比呂仁